静岡市

駿府城公園

～これからの再整備について～

これまで、駿府公園基本計画・基本設計及び駿府公園整備再評価計画に基づき、駿府城公園を整備してきました。

これまでの方針を踏まえ、駿府城の風格にふさわしく、家康公時代の歴史を感じられる景観を再現するため、野外展示施設の整備や、本丸広場の整備を実施していきます。

駿府公園整備再評価計画

整備のポイント

① 歴史的遺産の保存・再整備

発掘調査で発見された2つの時代の天守台など、貴重な文化遺産を活かした野外展示施設の整備をはじめ、大御所が居城した城跡の雰囲気や佇まいを感じることができるよう、公園内の景観の向上を図り、城跡にふさわしい園路などの整備を計画しています。

② 都心の公園機能の強化

天守台周辺の盛土を中央部の本丸広場等に活用し除去することで景観を改善し、本丸広場についても以前より広く、快適な空間を目指します。都心における広場機能を強化し、イベント開催や市民の憩いの場としての利便性向上も図ります。

③ 防災機能の確保

災害時には広域避難場所として本丸広場を活用することを計画しています。

詳細はパネルをご覧ください！

◀ご意見・ご感想はコチラから

紙での提出をご希望の場合、
葵区役所1F、東御門・巽櫓、きゃっしる、歴史博物館にある意見用紙にご記入の上、右記提出先へお持ちいただくか、ご郵送またはFAXにてお送りください。
募集期間：令和7年2月1日(土)～4月6日(日)

【提出先】
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号 静岡市役所新館7階 緑地政策課
FAX：054-221-1294
【担当】
静岡市 都市局 都市計画部　緑地政策課(TEL：054-221-1432)
公園建設管理課(TEL：054-221-1420)
観光交流文化局　歴史文化課(TEL：054-221-1085)

駿府城公園の歩み ～徳川家康が築いたお城から現代の城跡公園へ～

静岡市

駿府城公園のリニューアルに向けて、まずはこれまでの歴史を見ていきましょう。築城から改修、天守の焼失、城跡として、都市公園としての整備…時代にフィットした形に姿を変え、人々に親しまれてきた駿府城公園について、当時の写真と一緒に振り返ってみましょう。

室町～戦国時代

今川氏の本拠地

駿府城公園周辺には、足利将軍一族の今川氏の本拠地(館)があったと推定されています。発掘調査では今川氏の館の池や建物跡、高級な焼き物が見つかり、当時の繁栄をうかがうことができます。

◀金箔を貼ったかわらけ(土で作られたお皿です)
今川氏の繁栄を示す遺物です。

戦国時代末～

駿府城築城　天正13(1585)年～

▲戦国時代の駿府城天守台
駿府城天守台発掘調査
で新たに発見されました

駿府城は、天下人・徳川家康により二度築城された天下の名城です。
一度目は戦国時代末期に、豊臣政権の有力大名であった徳川家康により築かれました。

江戸時代～

拡張・改修　慶長12(1607)年～

▲東海道図屏風（静岡市所蔵 静岡県指定文化財）

二度目は関ケ原の戦いに勝利し、江戸幕府を開いた徳川家康が、慶長12年から、全国の大名を動員して、範囲を拡張する大改修により築いた城で、大御所政治の拠点となりました。

天守焼失　寛永12(1635)年

城のシンボルである天守は、７階建ての壮麗な建物でしたが、寛永12年に火災で焼失した後は再建されませんでした。(天守が存在したのは25年間のみ)
その後も幕府の城として大切に管理されました。

明治時代～

陸軍への献納

▲二の丸御門石垣前 記念写真
終戦直前に撮影された写真で、写っている石垣は、現在も当時の姿のまま残っています

明治22年、廃城令により駿府城も廃城となり、静岡市に払い下げられますが、明治29年、天守台を崩して平坦な土地として陸軍に献納されます。
明治30年から陸軍歩兵第三十四連隊が設置され、昭和20年まで本丸と二ノ丸は兵営として使用されました。

昭和初期～

「駿府公園」として

◀▲昭和時代の駿府公園の写真
博覧会やイベント会場にも利用されていました

戦後、駿府城跡の連隊の兵舎は、戦災で校舎を失った学校の仮校舎となりました。その後、昭和26年に名称を『駿府公園』とし、昭和32年の静岡国体の開催に合わせて二の丸橋が新設され、競技会場として駿府会館をはじめ、多くのスポーツ施設が整備され、その後市民に利用されました。

平成初期～

昭和55年以降、駿府会館跡地から今川氏時代の遺跡や天守台石垣の一部が発見されました。
平成３年に**駿府公園基本計画・基本設計**を策定し、市民に愛され、親しまれ、歴史を感じ、誇りを持てる公園になるよう、整備を進めています。
平成24年には公園の名称を『**駿府城公園**』とし、城跡としての歴史的価値をより全国へ発信することを目指しています。

再整備計画、始動

平成元(1989)年：巽櫓(たつみやぐら)完成
平成８(1996)年：東御門完成

平成13年(2001)：
紅葉山庭園、茶室完成

新時代の城跡公園へ…

平成26(2014)年：坤櫓(ひつじさるやぐら)完成

時代は令和となり、市民生活に果たす都市公園の役割は多様化しています。
駿府城の歴史を守りつつ、人々に愛される憩いの場となるよう、時代に合った整備を引き続き行います。

これからの駿府城公園 ～歴史遺産・市民の憩い・防災拠点～

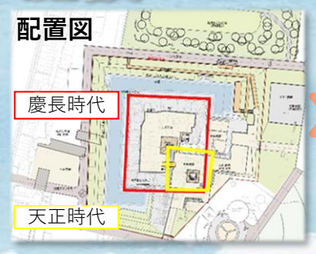
静岡市

平成３年に駿府公園基本計画・基本設計を策定、平成17年の再評価を経て、歴史遺産の保存・再整備を念頭に置きながら公園としての魅力を高める整備を実施してきました。
計画策定から30年が経過しましたが、これからはさらに時代の動向を踏まえ、歴史ある駿府城の魅力を最大限に引き出し、その価値を活かして観光客をお迎えします。
また、市民が日常的に楽しめる空間、イベントを開催しやすい空間にも配慮しながら、災害時の広域避難地としての役割も果たしていきます。

駿府城跡天守台野外展示施設

ライトアップも検討中！

天正時代・慶長時代の天守台を保全整備します！
異なる２つの時代の天守台を同じ場所で見られるのは全国でも珍しい事例です！



野外展示西側

天守台野外展示 管理・ガイダンス施設

野外展示への理解を深めるVRシアターのほか、展示室や管理施設を整備します。

整備イメージ

訪れていただいた方が、歴史を楽しく体感し、歴史散策を楽しめるよう、デジタル技術を用いて高精細な天守のVR・AR映像を制作・活用します!!

本丸広場

以前より広く、快適な空間にするため、下記の整備を予定しています。

- ◎ 内堀の発掘土を沈床園に移し、芝生広場を整備
- ◎ 過密な植栽環境を改善し、利用者の安全を確保するため、支障木や枯損木を整理し、健全な樹木を育成
- ◎ 中央部の園路は現在の丸い形状を改め、家康公が築いた本丸堀(内堀)のラインを踏まえた直線的な形状とし、歴史的景観を再現

中央部 園路イメージ

現在の園路は、歴史を感じられない丸い形状…

城跡を意識した角ばった園路にし、広場の使い勝手が向上します！

紅葉山庭園茶室

茶室での料理提供が可能になるよう、調理場を整備しました！
日本建築の伝統美を感じる数寄屋造りの茶室を食事会や会議・研修などにご利用いただけます♪

24席のレイアウト
▼40席まで配置可能

四季折々の景色の中で、特別なひと時を…

城跡公園としてのイメージ図・お知らせ

静岡市

お知らせ

デジタル技術で「ありし日の駿府城天守」を再現しよう！

VR・ARの制作により「ありし日の駿府城天守」を再現し、静岡市の歴史の魅力を身近に体験できるようにし、学びや観光などに活用していきます。皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

詳細はコチラ!

発掘調査で見つかった貴重な文化遺産から…

VR・ARで再現！

皆様のご支援をお願いいたします

静岡県庁別館展望台から見た駿府城天守
AR(イメージ)